

資料 3

妊婦支援型宿泊施設の設置

オミクロン株の特性に対応した臨時の医療施設等

重症化リスクが高いと言われる**高齢者**や不安を抱える**妊婦の受入枠**を拡大するため、**臨時の医療施設等**を新たに整備

医療機能強化・多機能型 宿泊療養施設に**医療機能を付加**（現在詳細調整中）

イーストタワー（品川プリンスホテル）、ファーイーストビレッジホテル東京有明
立川（コンテナ設置で対応）

高齢者医療・介護支援型 高齢者施設で、多数の感染者が発生した場合の**往診、治療及び転退院の拠点**

旧東京女子医大 東医療センター（荒川区）

妊婦支援型 主治医と連携し、**妊婦をサポート**する療養施設

イーストタワー（品川プリンスホテル）、ファーイーストビレッジホテル東京有明 計40室

妊婦支援型宿泊施設＜入所の基準＞

- ✓妊娠36週未満
- ✓産科症状がないこと
- ✓高血圧等の産科合併症がないこと
- ✓無症状・軽症（「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」の重症度分類）
- ✓重症化リスクがないこと

妊婦支援型宿泊施設＜入院の判断めやす＞

✓産科症状が出現した場合

✓陽性妊婦の健康観察のポイント（日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会監修）の項目に当てはまる場合

① 1 時間に 2 回以上の息苦しさを感ずる時

② トイレに行くときなどに息苦しさを感ずるようになった時

③ 心拍数が 1 分間に 110 回以上、もしくは呼吸数が 1 分間に 20 回以上

④ 安静にしていても酸素飽和度が 93～94% から 1 時間以内に回復しない時

1 リモート産科医役割

- 一日3回 妊婦支援担当看護師とのミーティングに参加
- 必要に応じ、入所者へのZOOMによるリモート診察の実施
- 入院・受診調整が必要な入所者の決定
- 受け入れ医療機関への病状説明

2 連携病院の役割

- 宿泊施設・看護師からの相談対応(夜間)
- 入院や受診が必要となった場合の受入(日中・夜間)